

高齢者の介護予防推進ボランティア活動の 自主グループ設立に関する過程分析

李 恩兒¹⁾、秋山由里²⁾、中村好男²⁾

¹⁾早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

²⁾早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード： 高齢者、介護予防、ボランティア、過程分析

抄 録

本論では、地域高齢者を対象として体操教室等、健康増進を目的とした活動を行っている埼玉県狭山市のボランティア団体A会の設立過程を調査分析し、他地域での同様の自主グループ設立のための資料を提供しようとした。

調査方法としては、A会の役員、グループ立ち上げ時の関係者、行政の職員に半構造化インタビュー調査を行った。また会員名簿・会報・活動報告書・総会議案書などA会に関する情報を収集し、内容を分析した。

A会の設立過程には、1. 既存組織の継承、2. 人材発掘・研鑽機能、3. 行政の役割、という3つの要因が浮かび上がった。今後、高齢者の介護予防推進ボランティア活動を進めていくために、多数のグループを対象とした設立過程の分析を行い、共通する要因を明らかにする必要がある。

スポーツ科学研究, 5, 246-252, 2008年, 受付日:2008年9月26日, 受理日:2008年12月10日

連絡先:李恩兒 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15

TEL/FAX: 04-2947-6829 E-mail: euna@fuji.waseda.jp